

戦後80年

ベトナム戦争終結50年

80 Years after the end of WW II, 50 Years after the end of the Vietnam War

反戦の Prism of Peace Activism リズム

Kyoto Museum for World Peace,
Ritsumeikan University
Autumn Exhibition 2025

今、
人類の良心に問う

立命館大学 国際平和ミュージアム
秋季特別展

2025

11.1^(土)—12.25^(木)

1階 中野記念ホール / 2階 ピースギャラリー

主催 立命館大学 国際平和ミュージアム

協力 ちひろ美術館

後援 京都府 京都市 京都府教育委員会、京都市教育委員会、
京都市内博物館施設連絡協議会

開館時間 9:30~16:30(入場は16:00まで)

休館日 日曜日・祝日の翌日、ただし11/23は開館

入館料 大人400円(350円)、中学生・高校生300円(250円)、小学生200円(150円)

※()内は20名以上の団体料金、常設展見学可、11/3、11/5は無料公開

※立命館で学ぶ人、働く人は無料



立命館大学 国際平和ミュージアム
Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University

京博連





【関連事業】

◆ 講演会

「戦争の記憶と和解 “ベトナム”の今」

2025年11月3日(月・祝) 14:00-16:30

立命館大学国際平和ミュージアム 1F

エントランスホール

参加無料

一 講師

古田元夫 (日越大学学長・東京大学名誉教授 オンライン参加)

藤本博 (明治学院大学国際平和研究所研究員・元南山大学教授)

河内信幸 (中部大学名誉教授)

オンライン参加希望の方

右記QRコードよりお申し込みください。

締め切り 10月31日(金)



◆ 映画上映会

ドキュメンタリー映画「記憶の戦争」

監督: イギル・ボラ | 2018年 | 韓国映画 | 기억의 전쟁

©2018Whale Film | 配給: スモモ

第1回

2025年11月24日(月) 13:30~16:00

立命館大学OIC茨木キャンパスH棟

JIZAI HALL

定員 先着50名 無料

第2回

2025年11月29日(土)

一 解説・ギャラリートーク 10:00~11:00

国際平和ミュージアム1F 中野記念ホール

藤本博 (明治学院大学国際平和研究所研究員・元南山大学教授)

河内信幸 (中部大学名誉教授)

要入館料

一 映画上映 13:30~15:00

平井嘉一郎記念図書館シアタールーム

定員 先着40名 無料

1.和田誠 2.西村繁男 3.飛鳥童 4.いわずさちひろ 5.古川日出夫 6.田島征三 7.永島慎二 8.長新太 9.陸井三郎ポートレート写真
10.ディン・Q・レ《光と信念: ベトナム戦争の日々のスケッチ》(部分)
2012年 展示風景: 「ディン・Q・レ: 明日への記憶」森美術館(東京)
2015年 撮影: 永澄賢 / 所蔵: 画像提供: 森美術館

1~8 反戦野外展パネル(複製) / 所蔵: ちひろ美術館蔵、9 / 所蔵: 当館

【問い合わせ】立命館大学国際平和ミュージアム 〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL.075-465-8151 FAX.075-465-7899 <https://rwp-museum.jp/>

— 今、人類の良心に問う

Appeal to the Conscience of Humanity

「ラッセル法廷」、「反戦野外展」、 平和をつくる表現者たち

—I appeal to you as a human being to human beings. Remember your humanity and your own self-respect. —Bertrand Russell 1967

1960年代後半から70年代にかけて、世界史上未曾有の反戦運動が世界規模で展開されました。ベトナム戦争におけるアメリカの軍事介入への民族的抵抗に共感した人々の行動は大きなうねりとなり、戦争を終結へと導きました。また国境を越えて連帯した人々はベトナム反戦運動を越えて、様々な社会課題へと目を向けていくようになります。なぜ、人々はそれほどまでに共鳴することができたのでしょうか。そして私たちは、今、暴力の連鎖をとめるために何ができるのでしょうか。本展覧会では、平和のために行動した表現者たちの足跡をたどります。また、戦争のその後を、ベトナム人現代アート作家たちの視点から見つめ直します。戦後80年、ベトナム戦争終結50年の

今年、かつて連合国が裁いた第二次世界大戦における

ドイツと日本の戦争犯罪、市民社会によって

裁かれたベトナム戦争という広い歴史

的文脈のなかで、平和を希求した表現

者たちの遺産、未完の課題を考え、

明日の平和創造への一步を探ります。

▶ラッセル法廷: イギリスの哲学者バートランド・ラッセル (1872-1970) が提唱し、ベトナムにおけるアメリカの戦争行為を戦争犯罪として告発することを目的として展開された、市民の手による市民法廷。ラッセルが再三にわたって“人類の良心”に問いかけ実現し、1967年、2度にわたって開催された。陸井(くがい) 三郎 (1918-2000) は日本の中心的メンバーとして、約7年にわたってベトナム戦争犯罪調査を実施、ベトナムと欧米、日本の運動を結びつける稀有な存在として貢献した。

▶反戦野外展: 1967年、日本児童文学者協会による「ベトナムの子供を支援する会」発足後、田島征三 (1940-)、西村繁男 (1947-) はじめ絵本作家、イラストレーターらが中心となって、銀座、数寄屋橋公園でポスターパネル展を開催し、さまざまな形でベトナム反戦運動を展開した。

見学資料費(入館料)

	個人	団体 (20名以上)
大人	400 円	350 円
中学生・高校生	300 円	250 円
小学生	200 円	150 円

※障害者手帳・被爆者健康手帳・戦傷病者手帳をお持ちの方は、ご提示いただきますと見学資料費が免除になります。付添の方も1名まで無料です。

※JAF会員証提示の場合、1枚で5名まで見学資料費が50円引きになります。

※立命館で学ぶ人・働く人は無料です。



立命館大学国際平和ミュージアム
Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University

